SANKYU

2024 年 5 月

物流・サプライチェーンの課題解決を目指すベンチャー企業支援

『マーキュリア・サプライチェーン投資事業有限責任組合』への出資参加

山九株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中村　公大）は、『マーキュリア・サプライチェーン投資事業有限責任組合（投資ファンド)』への出資参加を決定いたしました。

本出資は、物流 DX への対応強化、ロボティクス・AI 他の新鋭物流技術を駆使した高度な物流サービスの提供を目的に、日本の物流・サプライチェーン領域の課題解決を目指すベンチャー企業・スタートアップ企業との連携強化を図るためのものです。

昨今の物流業界は、2024 年問題を始め、カーボンニュートラル対応、ロボティクス化の促進等、大きな転換期を迎えています。これら物流課題に対応する革新的なテクノロジーやビジネスモデルを有する企業への投資による成長支援、並びに協業機会の提供による事業拡大支援を実施し、物流・サプライチェーンの課題解決を進めて参ります。

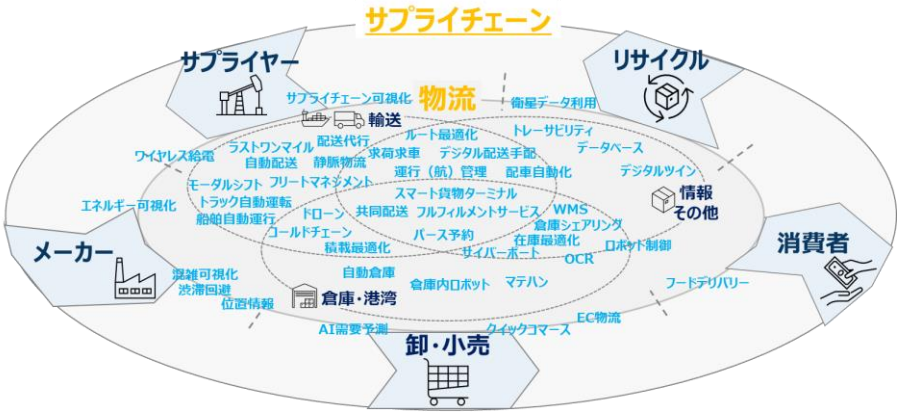
なお、本ファンドは㈱マーキュリアインベストメント、㈱日本政策投資銀行、三菱倉庫㈱との連携の中で組成する投資ファンドであり、当社は LP 投資家（有限責任組合員）の一員として出資参加をいたします。

当社は今後も、様々なテクノロジーの開発・イノベーションの実行、各パートナー企業との協業強化を通じて、お客様の安定的かつ持続的な成長の支援、社会課題の解決に努めてまいります。

＜本ファンド概要＞

1．	名称	：　マーキュリア・サプライチェーン投資事業有限責任組合
2．	組成日	：　２０２４年４月２６日
3．	ファンド規模	：　３０~５０億円（目標）
4．	無限責任組合員	：　（株）マーキュリアインベストメント
5．	有限責任組合員 （4月26日時点）	：　（株）日本政策投資銀行、山九（株）、三菱倉庫（株） （株）マーキュリアホールディングス

＜投資対象領域イメージ図＞　※下記記載以外の展開・応用が期待できるものも含みます。



本件に関する問合せ先：経営企画部　広報・IR グループ　sankyu@sankyu.co.jp